

気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）

第13回運営委員会

○日 時

令和元年10月23日（水） 13:00～15:00

○場 所

気象庁5階 大会議室

○議題

1. 第4回WXBC総会、気象ビジネスフォーラムについて
2. 関係機関と連携したイベントについて
3. WG等の活動状況
4. 気象過去データの利用環境について
5. 産業界における気象データの利活用状況に関する調査
6. えひめAI・IoT推進コンソーシアムの取組
7. 気象データアナリスト（仮称）の育成・確保に向けて
8. その他

○配布資料

- 資料1：第4回WXBC総会、気象ビジネスフォーラム
- 資料2：関係機関と連携したイベント
- 資料3：WG等の活動状況
- 資料4：気象過去データの利用環境について
- 資料5：産業界における気象データの利活用状況に関する調査
- 資料6：愛媛県における気象情報活用の動き
- 資料7：気象データアナリストの育成
- 資料8：WXBC会長印の使用について
- 別紙1：人材育成WG報告
- 別紙2：新規気象ビジネス創出WG報告
- 別紙3：広報等報告
- 参考資料：WXBC運営委員

第4回WXBC総会（案）

日時：令和2年2月4日（火）11時00分～11時45分（受付開始：10時15分）

場所：一橋講堂2階 講堂

定員：494名（各会員1名を優先し、残席数に応じて先着で受付）

次第：

1. 開会 挨拶：越塚会長
2. 運営委員の選任（事後承認）
3. 活動報告
 - 人材育成WG関連：田原座長
 - 新規気象ビジネス創出WG関連：村上座長
 - 運営委員会開催状況、広報活動、関係機関と連携した活動等の報告
4. 4年目の活動計画（案）の承認
5. 質疑
6. 閉会 挨拶：気象庁長官

第4回気象ビジネスフォーラム（検討中）

目的・概要

WXBCの設立から3年が経過したことを踏まえた内容とする。詳細は今後検討

日時：令和2年2月4日（火）10時00分～17時00分（展示）

各WG報告・基調講演・パネルディスカッション等：

13時00分～16時30分（受付開始：12時15分）

場所：一橋講堂

次第（想定）：

- ・気象ビジネス事例紹介（20分×3～4）
- ・休憩（30分）
- ・トークセッション（60～90分）

対象者：フォーラム：会員（優先）及び非会員 500名（先着順）

展示主体：会員のみ（32～48ブース）※要出展料（詳細は後日）

司会：気象キャスター又はアナウンサー

※WGの活動報告は総会のみとし、フォーラムとの差別化を図ることで、総会への集客アップにつなげる。

「2019TRON Symposium -TRON SHOW-」への協賛について

日時:12月11日(水)～13日(金)

場所:東京ミッドタウン

主催:トロンフォーラム

共催:東京大学大学院情報学環 ユビキタス情報社会基盤研究センター、INIAD cHUB(東洋大学情報連携学 学術実業連携機構)

概要:産学協同により新しい理想的なコンピュータ体系を構築するプロジェクト「トロンプロジェクト」、「ユビキタスIDプロジェクト」、「T-Engineプロジェクト」、「オープンデータプロジェクト」及び「IoT-Engineプロジェクト」を推進しており、その進捗状況、研究開発の成果等を紹介する。

協賛内容:会員企業等への周知・広報、企画に関する助言等

WXBCセミナーの共催について

仙台、北九州で開催するWXBCセミナーに関しては、それぞれ、仙台商工会議所、公益財団法人北九州産業学術推進機構は共催とする。

○仙台セミナー

日時:1月22日

場所:仙台商工会議所

共催:仙台商工会議所

○北九州セミナー

日時:11月末～12月上旬

場所:九州ヒューマンメディア創造センター

共催:公益財団法人北九州産業学術推進機構

関係機関と連携したイベントについて

岐阜大学「Python気象データ分析体験セミナー」 WXBCとの共催申請について

日時:12月23日(月) 11:00～17:00(予定)

場所:岐阜大学サテライトキャンパス多目的講義室(大) (岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階)

主催:国立大学法人岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

概要:WXBC人材育成WGが企画する「気象データ分析チャレンジ！(アメダスCSV編)」の内容を、プログラミング言語Pythonを用いて学習する体験型セミナーとなっている。気象庁が提供する過去気象データについて紹介するとともに、Pythonによる気象データ分析の基礎について学習し、機械学習により気象データによる電力消費量の予測について体験する。

共催内容:

- 本セミナーは、気象ビジネス推進コンソーシアムの人材育成WGの活動により着想を得たものであり、「気象データ分析チャレンジ！(アメダスCSV編)」でのノウハウや資料を活用したい。
- 開催案内においてWXBCの名義及びロゴを使用したい。また、WXBC会員への周知を希望する。

人材育成WG

(4/19,5/17,6/21,7/19,9/20,10/18 次回は11/15)

今年度の活動目標：気象データを使ってみよう！

○WXBCセミナー

- 昨年度に引き続き、気象データやその取得方法に関する理解を深めそれを活用したビジネスを紹介することにより、気象データのビジネスへの有用性を実感していただくため、東京（3回）及び各地方で実施。
- 東京ではハレックス様にご協力いただき、気象データ取得APIに関するセミナー（座学と演習）を実施。
- 地方では関係機関等と連携し、地元のニーズに合う内容で11月以降に実施予定。

○AIチャレンジ！

- AIを用いて気象データと他データを掛けあわせ、既存業務の改善や新たなビジネス創出のためのAI活用法や、気象データを組み合わせ有効なデータ探しを体験することを目標に、開催中。
- AIの専門知識がなくても使えるツールを用いて3回実施予定。8/30に富士通様（AI適用アセスメントツール）、10/23にグルーヴノーツ様(MAGELLAN BLOCKS)の協力を得て実施。3回目（ソニー社Neural Network Console）を12/12に企画中。

○気象データ利用のための環境整備

- 人材育成WGの有志メンバーにて、気象データ利用環境の向上に資する活動を検討、サンプルの試作に着手。

○e-Learning研修資料の作成・公開

- データ分析チャレンジ！（アメダス版）を吉野様に協力をいただき作成、8/9にWXBC会員にお知らせ。今後、報道発表などを行い、広く一般へ周知予定。

この他、WG内勉強会として、会員企業の取り組み紹介も引き続き実施中。

「気象×IoT勉強会」は昨年度の「プロトタイプ開発報告書」を作成。体裁を整えるなど仕上げの作業を実施中。

WG等の活動状況

新規気象ビジネス創出WG (4/25,7/16,10/15,次回は年明け?)

○第2回気象ビジネスマッチングフェアの開催

- 7月31日(水)に新宿にて第2回気象ビジネスマッチングフェアを開催した。
- 来場者数245名、1対1商談数83組。商談が成立したとの報告は1件寄せられた。

この他、会員企業によるプロジェクトの報告・提案、気象データの利活用事例集、会員紹介ページの拡充等、企業間マッチングに資する取組を実施中。

広報関係

○WXBCホームページの改善

広報担当の田中様にご助言をいただきつつ、非会員の方も情報を得やすいように以下の改善を行った。

- トップページ変更(9/13)
- 会長、両WG座長のメッセージの掲載(9/13)

新規気象ビジネス創出WGで制作した気象データ利活用事例集のWeb化を実施中(R2.1公開予定)

○WXBCメーリングリストについて

- メーリングリストの利用の手引きを今後変更予定(フリーメールの利用可能など。)

○WXBC会員向けread onlyアカウントの運用について

- AITC様、富士通様、日立様にて試験的に運用を実施。
- 特段の問題はないため本運用とし、今後希望する企業等にread onlyアカウントを発行予定

※read only アカウント：会員限定資料の閲覧のみ可能(WG等の資料の閲覧、掲示板への書き込みは不可)

ニュースレター、WXBCのtwitter・YouTube等も継続して実施中。

気象庁では、気象データを活用した新規事業の創出等を目指す企業等を対象として、気象過去データをご利用頂く環境を構築しました（R1.6.28～）。
より使いやすい利用環境とするため、11月より一部の気象データについてCSVファイルで出力する機能の追加を行います。

○目的

- ・気象データの産業分野における利活用の促進を目指し、企業等における新規事業の開発に必要な気象過去データを実証的にご利用頂く環境を構築し、その利用状況等を調査することで、今後の データ提供方法の評価・検討を行う。

○対象とする利用者

- ・気象データを活用した新規事業の創出等を目指す企業・団体・個人

○データの利用条件

- ・利用目的や開発計画等を事前に提出頂きます。
- ・利用状況等の気象庁への報告、必要に応じてヒアリングへの協力をお願いします。

○提供するデータ

- ・幅広い産業分野でニーズがあり、さらなる利用の拡大が期待されるデータ
- ・気象庁として利用を積極的に促進したいデータ

○成果の活用

- ・新規事業創出等の参考となるよう、企業等が特定されない形で成果をとりまとめて広く公開します。
- ・気象庁や民間気象業務支援センターを通じた今後のデータ提供方法等の改善の参考とします。

○現在の利用状況（R1.10.16現在）

- ・ユーザー数：52
- ・よく取得されているデータ：推計気象分布、MSM、レーダー
- ・ダウンロードファイル容量：約13TB

1. アンケートの目的

様々な企業における気象情報・データ利活用に関する現状と高度な利活用に向けた課題を調査し、気象情報・データの更なる利活用促進に取り組む。

2. アンケート方法

①業種割合に応じて、全業種を対象にWXBC法人会員も含め計10000社への選択式アンケートを実施（回答率見込みは10～20%程度）。

②WXBC法人会員に対しては、年明けにWXBCの効果に関するアンケートを実施する。

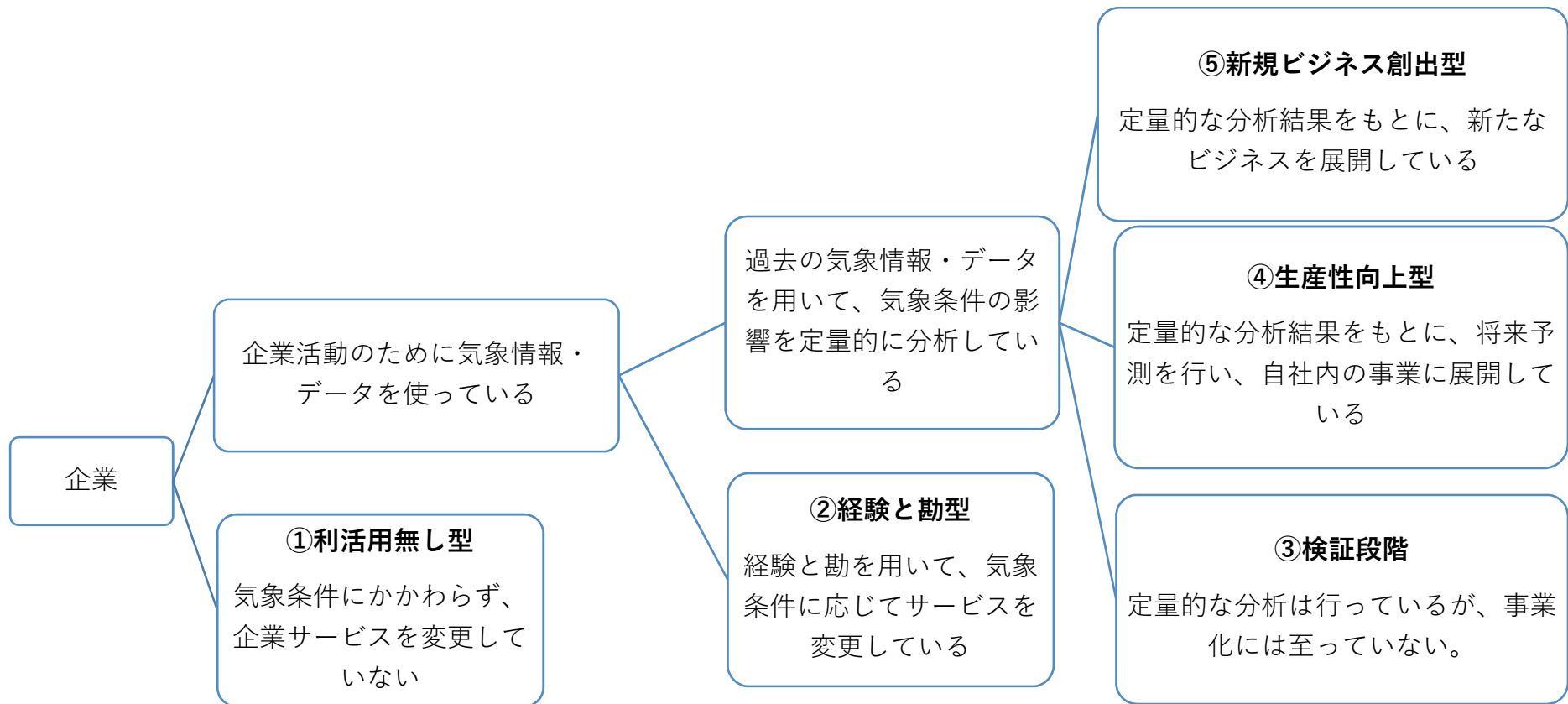
< アンケート内容の概要 >

利活用している企業向け	
属性の調査	利活用のきっかけ、利活用段階、気象要素（天気、気温等）、データの入手方法、影響範囲（売上、販売機会、安全管理、人員配置等）
効果の調査	効果の程度、効果をさらに上げるために必要なこと、効果が上がっていない理由
利活用していない企業向け	
属性の調査	利活用していない理由（情報不足、人材不足等）、興味のある分野、利活用に必要な気象要素
WXBC会員向け	
入会の効果関係	入会理由、入会後の変化、データの入手方法、WXBCへの要望
有料イベントの参加状況	マッチングイベントの参加状況（分野、料金、頻度） セミナーの参加状況（分野、料金、頻度）
気象データアナリスト制度関係	人材の有無、人材の必要性（必要な場面、必要な技術）とその理由、認定気象データアナリスト制度に対する意見

アンケートの内容を検討するにあたっての考え方

< 気象情報・データの利活用段階 >

企業における気象情報・データの利活用段階に応じて、企業を5段階に分類：①利活用無し型、②経験と勘型、③検証段階、④生産性向上型、⑤新規ビジネス創出型



えひめAI・IoT推進コンソーシアム

発足: 2018年8月23日

会員企業数: 105社(現時点)…製造業(2/3):IT産業(1/3)

事務局: 愛媛県経済労働部 産業支援局 産業創出課

愛媛県の県内企業における生産性向上と付加価値創出、新産業育成に向けて、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等の先端技術の導入・活用促進を支援する、産学官によるコンソーシアム

【ビッグデータ活用WG】(座長: 愛媛県産業創出課長)

ビッグデータを活用した新サービス等の創出

① 観光部会

「外国人観光客周遊消費傾向等調査事業」の結果を活用したデータ分析に係る研究及び新サービス等の検討

② 気象部会

気象ビッグデータを活用した新ビジネスの創出

【技術開発WG】(座長: 愛媛県産業技術研究所技術開発部長)

技術的な課題・テーマについて、関連技術の開発・実証、標準化等先進的なモデル事業の創出、県内企業における実装等の推進

〈設置部会のイメージ〉

①ものづくり部会、②農林水産部会

③第5世代移動通信方式(5G)部会、④ドローン部会

2018年度第2回普及啓発セミナー(2018.10.24)、
2019年度第1回普及啓発セミナー(2019.8.20)
にて越智が講演



令和元年度総会(8月20日)の様子

【WXBCへの依頼事項】

① えひめAI・IoT推進コンソーシアム 気象部会のWXBCへのグループ加盟の承認
窓口: 事務局(愛媛県経済労働部産業創出課)

② 研修・セミナー・マッチングイベント等への協力

WXBC地方展開の
1つのモデルの構築

えひめAI・IoT推進コンソーシアム 第1回 気象部会セミナー 開催要領

目的・概要

「気象データを使ってみよう！」をテーマに、気象データのAPIを利用して、実際に気象データを使っていた内容で開催。気象データAPIを利用したビジネス事例のご紹介や、気象データAPIをご自身のPCでお試しいただけるハンズオンセミナーを実施。

開催日時

令和元年11月28日(木) 13時00分～17時00分

目的

テクノプラザえひめ(愛媛県松山市久米窪田町 337-1)

対象者

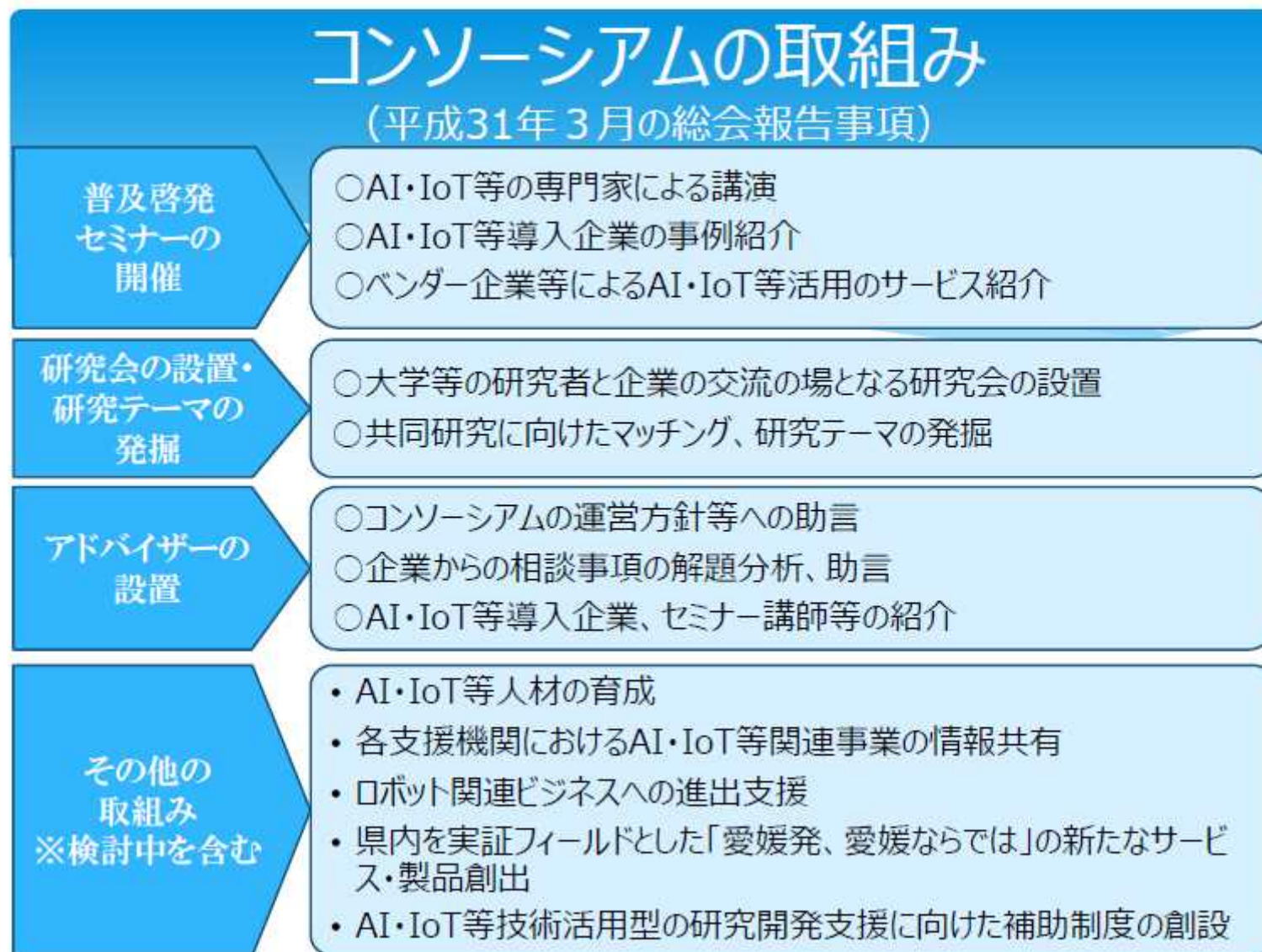
えひめAI・IoT推進コンソーシアム会員・非会員:30名 ※事前申込制(先着順)

時間割

13:00-13:05 開会挨拶
13:05-13:50 APIを用いたビジネス事例 (株)ルグラン様
13:50-14:00 休憩
14:00-14:50 気象データの基礎知識 松山地方気象台様
14:50-15:00 休憩
15:00-17:00 APIセミナー (株)ハレックス様

第2回は2020年2月に気象データ分析チャレンジのセミナーを計画中

【参考】

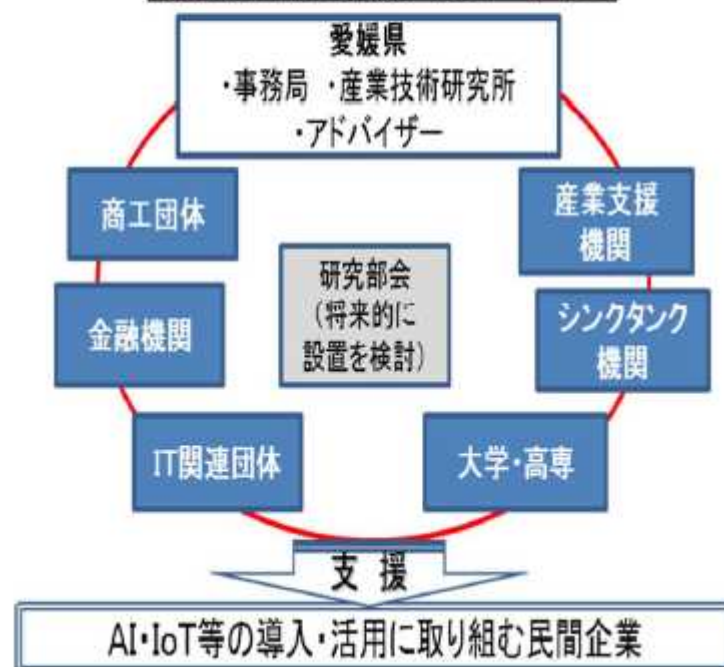


『えひめAI・IoT推進コンソーシアム』令和元年度総会資料(令和元年8月20日)より抜粋

【参考】

コンソーシアムの支援体制について

えひめAI・IoT推進コンソーシアム



支援機関(コンソーシアム参画機関)

1	愛媛県中小企業団体中央会	2	愛媛県商工会議所連合会
3	愛媛県商工会連合会	4	愛媛経済同友会
5	愛媛県法人会連合会	6	愛媛県情報サービス産業協議会
7	愛媛県IT推進協会	8	愛媛大学
9	松山大学	10	新居浜工業高等専門学校
11	伊予銀行	12	愛媛銀行
13	愛媛信用金庫	14	えひめ産業振興財団
15	えひめ東予産業創造センター	16	いよぎん地域経済研究センター
17	AI・IoT政策推進アドバイザー	18	愛媛県産業技術研究所
19	愛媛県(事務局)		

【前回運営委員会資料の抜粋】

【目的】

- ・ 産業界における気象データの利活用を促進し、「新規気象ビジネスの創出」、「既存気象ビジネスの強化」を図るため、気象データと企業データとを併せて分析し、データ利活用に関する提言や助言を行うことができる「気象データアナリスト」の育成や確保の仕組みについて、WXBCの人材育成、新規気象ビジネス創出の両WGが連携して検討を行う。
- ・ まず、気象データアナリストに必要な知識・技能等を整理し、次にこれらの整理を踏まえ、気象ビジネスコーディネータの育成や仕組みの確保を行い、広く活躍する社会を目指す。

【定義】

気象ビジネスコーディネータ（仮称）

- ・ 多種多様のデータから必要な情報を取り出し、課題解決のための施策立案を行える人材。そのため、分析や統計のための能力だけでなく、データを意味ある形にできるコンサル能力やビジネス課題を整理する知識も必要となる。

気象データアナリスト（仮称）

- ・ 特定のデータから規則性を分析し、課題解決のためにアウトプットを作成できる人材。

【今年度の検討事項】

- ・ 気象データアナリストとして習得すべき知識・技能

【検討体制】

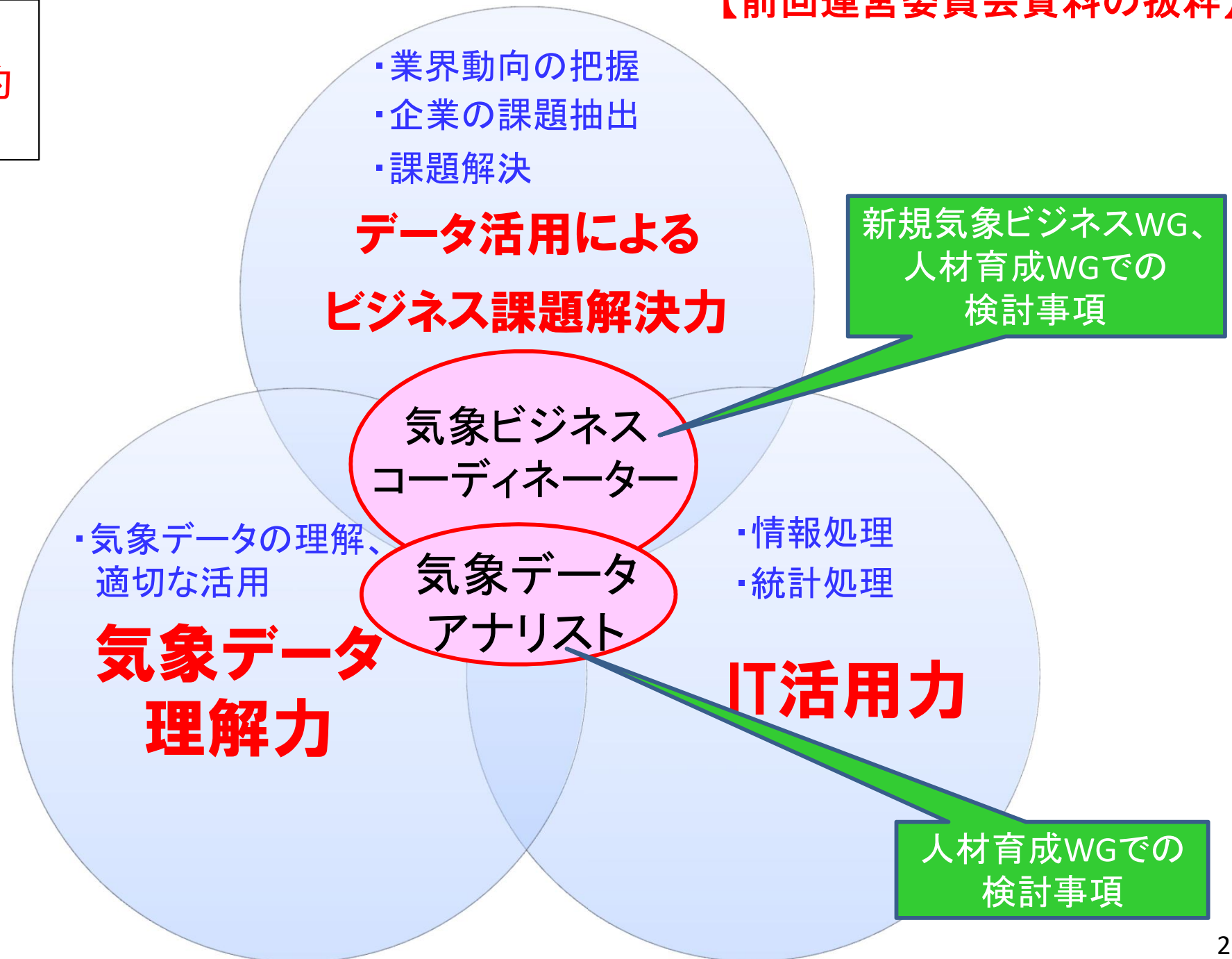
- ・ コアメンバー（人材育成WG、新規気象ビジネスWGの座長、副座長及び事務局）により検討

気象データアナリストに求められる能力のイメージ（運営委員会（6月））

青字のスキル
セットを具体的
に検討したい

【宿題】

【前回運営委員会資料の抜粋】



コアメンバー会議での検討状況

【開催日】 5/30（第1回）、7/19（第2回）、9/20（第3回）、10/18（第4回）

【方向性】

- 約40の民間団体が実施するデータサイエンティスト養成講習等を調査し、「気象データ関連事項」以外のスキル養成に必要な項目を整理（別表1）
- 気象データアナリストが習得すべきスキルレベルは、自立して事業を実施できることが求められることから、（一社）データサイエンティスト協会が定める、「Associate Data Scientist ～ 独り立ち レベル」以上を想定。
- アナリストの養成には、資格試験による認定、講習受講等、様々な方法が考えられるが、気象データアナリストが存在する社会を早期、効率的に実現するため、民間のデータサイエンティスト養成講習を活用することができないか検討を進める。
(細目的事項)
 - ・民間講習に「気象データ関連事項」を組み込んだものを「気象データアナリスト養成講習」とし、WXBCがその講習を認定するような仕組み。
 - ・講習内容は、①協力企業とWXBC事務局、②人材育成WGと予報士会の2系統で検討。
 - ・「気象データ関連事項」の講師として、気象予報士の活用も視野。
 - ・「気象データ関連事項」教材については、WXBCのクレジットを付すことを条件に講習実施企業等に無償で提供。
- 当面は、気象データアナリスト養成講習の実現に向けた作業を優先して取り組むこととし、気象ビジネスコーディネーター養成については、引き続き検討する（別図1）。

【民間講習を活用することのメリット】

（実施者側）

- ・「気象データ」を取り扱う予定の事業者や気象予報士等からの受講が期待

（受講者側）

- ・企業における気象データアナリストの養成教育に係る負担（教材作成等）の軽減が期待
- ・気象データアナリスト養成講習受講終了の提示により、ビジネス機会の拡大に繋がることが期待

（WXBC側）

- ・民間講習の活用により、気象データアナリストが多数存在する社会の早期実現が期待

気象データアナリスト養成講習のカリキュラム案（別表1）

分野	概要			備考		
気象データの理解と活用能力	気象データについて (概要)	気象データの概要・特徴・データ形式		e-learning (養成講座受講前の自習用に使用)		
		主な気象データの紹介				
		気象データの入手方法		W X B C ライブラリ (講習実施機関に無償提供)		
		過去の地上気象観測データの入手と利用				
		気象庁情報カタログ等の紹介				
		アメダスデータの概要及び特徴				
		ナウキャストデータ等の概要・特徴				
		気象衛星観測データの概要・特徴				
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報の概要・特徴				
		推計気象分布の概要・特徴				
		週間予報・長期予報データと活用事例				
		ガイダンスデータ・降水15時間予報データの概要・特徴				
		海水温・海流予報格子点資料の概要・特徴				
		データ分析・IT活用能力	気象データ分析 (入門)	オリエンテーション		W X B C ライブラリ (講習実施機関に無償提供)
データ分析の基礎						
データ分析の応用						
気象データを使った分析演習（データ分析演習Ⅰ）						
気象データを使った分析演習（データ分析演習Ⅱ）						
到達度確認テスト						
データサイエンス力 (DS)	統計数理基礎			習得すべきスキル項目		
	予測					
	検定/判断					
	性質・関係性の把握					
	データ可視化					
	分析プロセス					
	データの理解・検証					
	意味合いの抽出、洞察					
	機械学習					
	データエンジニアリング力 (DE)		データ加工			
プログラミング						
ビジネス創出・課題解決への データ活用能力	ビジネス力 (Biz)		行動規範		W X B C ライブラリ (講習実施機関に無償提供)	
			論理的思考			
		プロジェクトプロセス				
		データの理解・検証				
		意味合いの抽出、洞察				
気象 ビジネス (入門編)	気象情報はビッグデータ、IoT、AIのフロントランナー		W X B C ライブラリ (講習実施機関に無償提供)			
	気象データを活用したビジネスの現状と可能性					
	気象リスク管理の基礎					

※一部、一般社団法人データサイエンティスト協会スキルチェックリストを改変して使用

気象データアナリスト等に求められる能力のイメージ（別図1）

「**経験**」の共有・蓄積
→ 講習での習得は困難

「**技術・知識**」の共有・蓄積
→ 講習での習得は可能

気象ビジネス
コーディネーター

気象データ
アナリスト

まず、アナリストの
検討を行う

ビジネス創出・
課題解決への
データ活用能力

データ分析・
IT活用能力

気象データの理解と活用能力

○気象ビジネス推進コンソーシアム会長印の押印については、運営委員会（会長）承認が必要※。WXBCセミナー等の継続的な活動における従前の関係機関への後援申請等に関しては、事務局にて代理押印し、押印した結果は事後報告とさせていただきます。

その他の場合の押印については、これまでどおり運営委員会（会長）の承認を得るものとする。

※第8回運営委員会（平成30年3月15日）

セミナー等での他団体への後援依頼、他団体からの後援依頼について、運営委員会（会長）承認後、事務局にて書類に代理押印する。



これまでの使用実績

- ✓ WXBC地方セミナーでの、関係機関への後援申請、開催後の報告
- ✓ WXBCが後援等の申請を受けたイベントへの回答



人材育成WG 3年目の活動概覧

～方針編～

気象ビジネス推進コンソーシアム
人材育成WG

WXBC人材育成WG



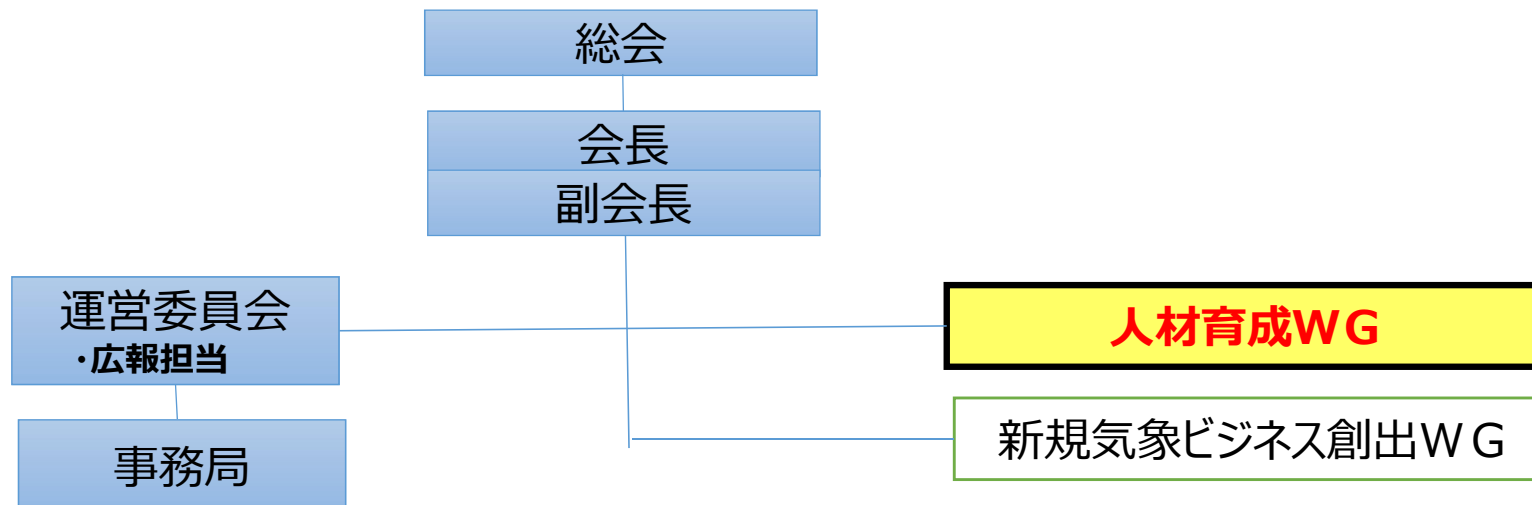
◆WGメンバー：118会員（2019年9月19日現在）

◆活動目標

**知見・技術の習得・討議の場を提供し、
気象ビジネスの創出および市場拡大のための人材を育成する**

- 1 気象データを活かしたビジネスを構想・企画できる人材の育成
- 2 IoTやAIを利用する気象ビジネスを構想・企画・実現できる人材の育成
- 3 気象データ、気象ビジネスを世の中に広めることのできる人材の育成

◆活動方針：企業の枠、競合関係の壁を越えたオープンな活動

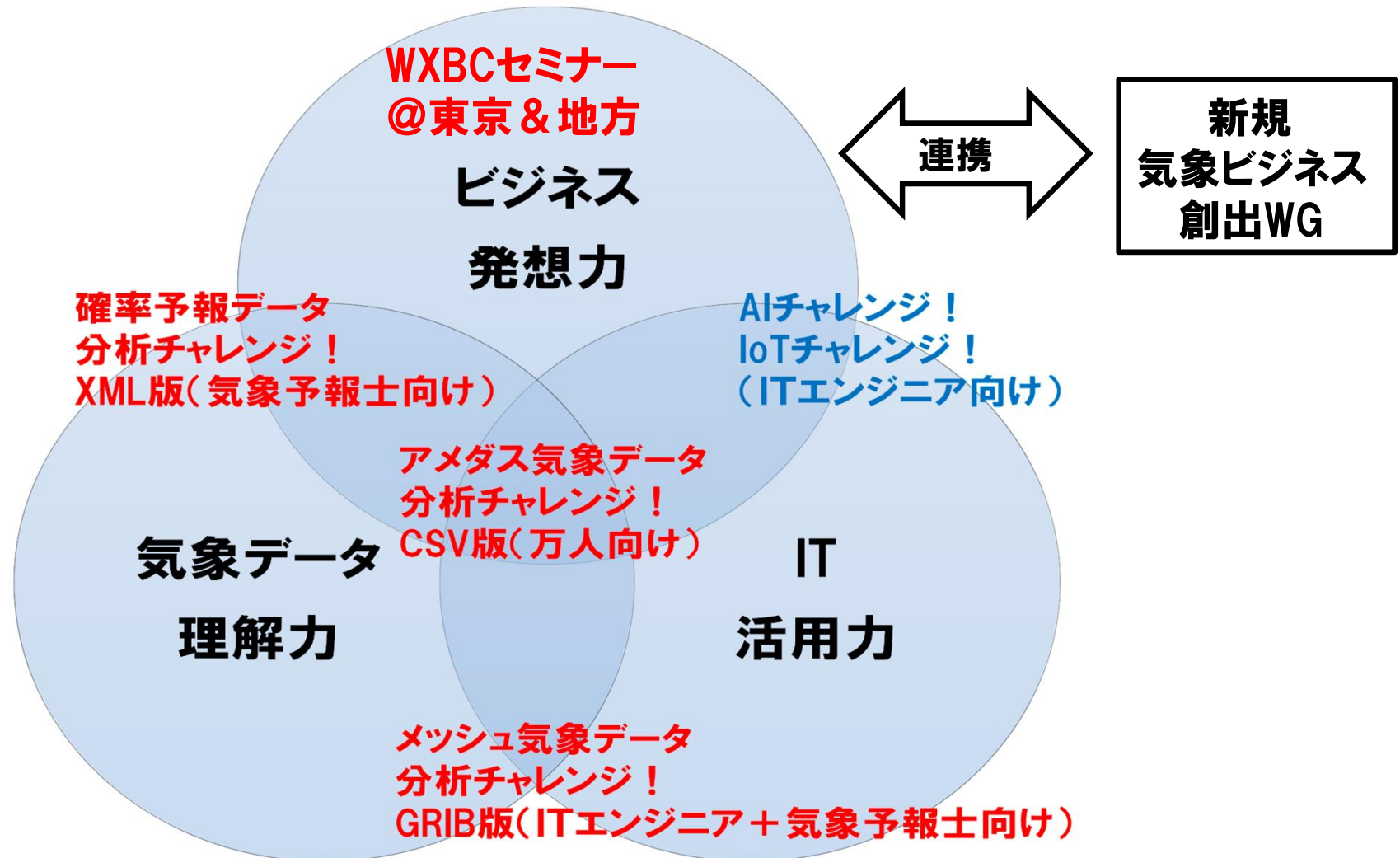


人材育成WG：設立後3年間の活動目標

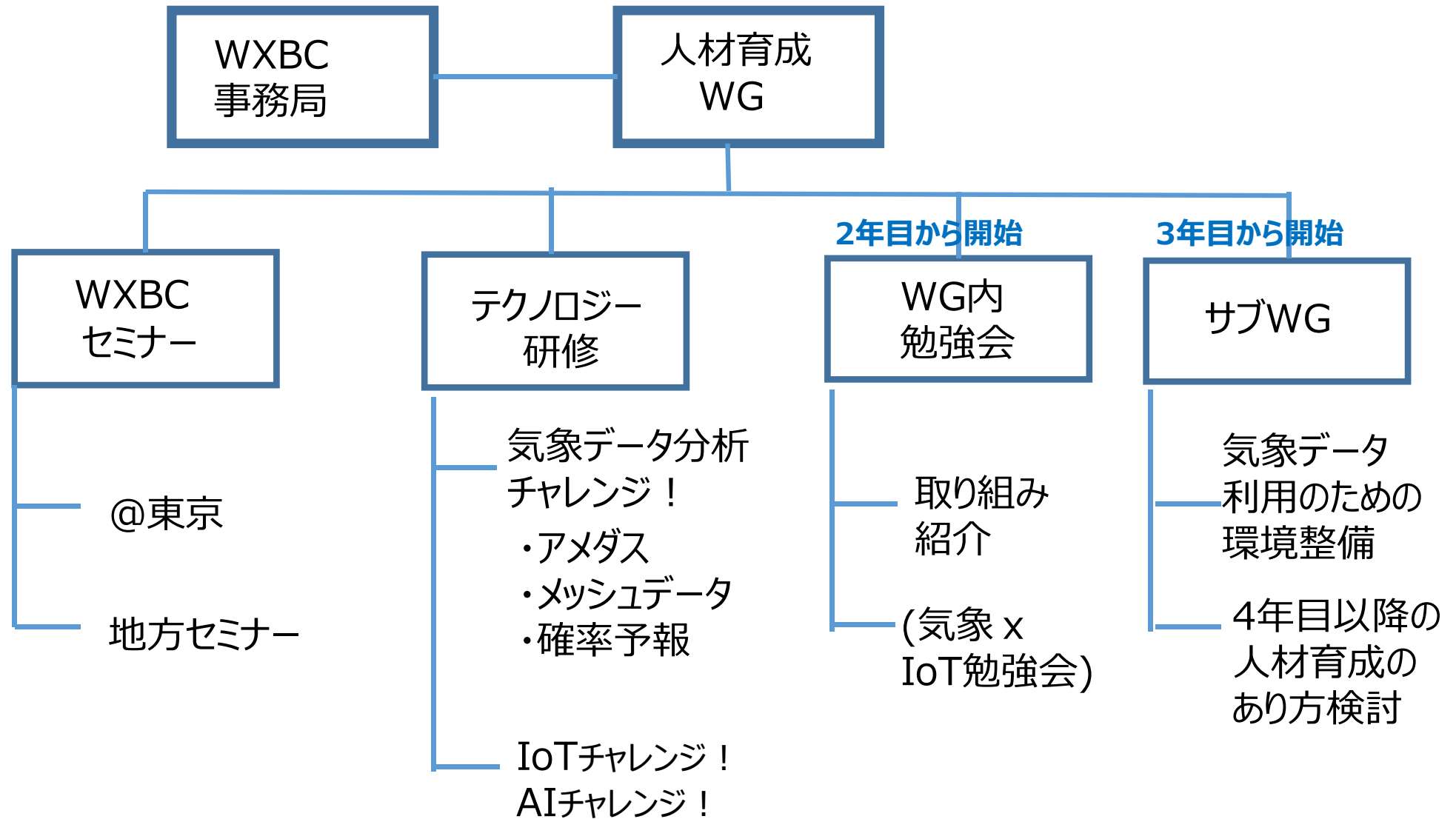
1年目：気象データの理解と認知度の向上に注力！（理解しよう！）

2年目：気象データ利用の啓発に注力！（触ってみよう！試してみよう！）

3年目：気象データ利用の向上に注力！（使ってみよう！）



人材育成WG：活動形態



3年目の取り組み一覧

“気象データを使ってみよう！”
に合致する内容企画
IoT、AI利用の事例紹介
体験コーナー

WXBC
セミナー

施策検討

新しいビジネスや技術を視野に

テクノロジー
研修

継続：
分析チャレンジ！
e-Learning化
新規：
IoTチャレンジ！
AIチャレンジ！

気象ビジネス
のための
人材育成

地方特性にあわせた
セミナー＆
テクノロジー研修

地方展開

気象データ
利用のための
環境整備

WG内
勉強会

WG間・
他組織との
連携

活動強化の
仕組み作り

気象データを
容易に、自在に

人材育成WG：3年目の活動計画

活動目的：知見・技術の習得・討議の場を提供し、気象ビジネスの創出および市場拡大のための人材を育成

3年目の活動目標：「気象データを使ってみよう！」

3年目の取り組み：「気象データを使ってみよう！」に資する活動展開＋次の人材育成のあり方検討に着手

1. 気象データ利用のための環境整備・充実

1) 気象庁と連携協力し、環境整備・充実に着手

- ①ツール類の充実 ②利用/開発の手引きやHint & Tips集の作成 ③APIについての議論

2. 気象データの利用 & IoT、AI利用の普及・推進

1) WXBCセミナー：「気象データを使ってみよう！」に副う企画とIoT、AI利用の事例紹介に注力

2) テクノロジー研修：

- ①既存チャレンジ！のe-Learning化、地方開催の推進：(a)アメダスデータ (b)メッシュデータ
- ②新規コースの開催：(a)確率予報分析チャレンジ！ (b)IoTチャレンジ！ (c)AIチャレンジ！

3) 地方展開：

地域の産業形態への対応が好評であることを踏まえ、一層地方色にあう仕組み作りに着手

- ①一部の管区気象台において、日本気象予報士会支部との連携で試行
- ②地域活動を牽引できるリーダーの養成を試行

4) 人材育成WG内勉強会：

- ①意見交換で理解を深め、気象ビジネスの発想力を培う「気象ビジネスへの取り組み紹介」の継続
- ②気象ビジネスへのIoT利用に必要な知識や技術力を培う「気象xIoT勉強会」の継続・発展

3. 4年目以降の人材育成のあり方検討

1) 新しいビジネスや新技術を視野に、「気象データを使いこなし、ビジネスに利用する」に必要な知識、技術、スキルの整理と再設定に着手

- ①ビジネスケース毎のフレームワーク化検討 ②シラバスとの対応づけ検討 等

【運営委員会への提案案件：WXBCの活動強化と発展を目指して】

1. 地方の活動活性化（活動を牽引できるリーダーの養成） 2. 「気象ビジネスコーディネーター」等の制度

【新しい取り組み】

3年目は「気象データを使ってみよう！」に資する活動とともに、「気象データを使いこなし、ビジネスに活かそう！」にレベルアップしていくための準備にも取り組む

1. 気象データ利用のための環境整備・充実

“気象ビジネスを推進”するために『気象データを容易に、不要なコストをかけずに自在に操れる』ことは不可欠であり、本WG3年目の活動目標である“気象データを使ってみよう！”を支える基盤でもある。活動3年目となる本年度から下記を主体とする環境整備に注力する。

挑戦： ①ツール類の充実 ②利用/開発の手引きやHint & Tips集等の作成 ③APIについての議論

進め方：気象庁の連携協力を得て実施

気象庁）気象庁や学界から発信されている既存の技術資料等を整理し、提示

WG側）サブWGを立ち上げ、必要なもの、作成すべきものを検討

気象庁からの提示と照合し、以後の活動内容を検討し実施

2. 4年目以降の人材育成のあり方に資する活動目標と施策検討

人材育成WGはこの3年間「気象データを理解し、試用から使用へ」を目標として活動展開中。

4年目以降を見据え、今後対応すべき新技術やその養成などの人材育成に関する検討に着手する。

挑戦：新しいビジネスや新技術を視野に、「気象データを使いこなし、ビジネスに利用する」に必要な知識、技術、スキルの整理と再設定

①ビジネスケース毎のフレームワーク化検討 ②シラバスとの対応づけ検討 等

進め方：サブWGを立ち上げ、検討を開始

3. 地方展開の強化

地方展開の重要性に鑑み、より一層 地方のニーズにあわせた活動展開のための基盤作りに着手する。

挑戦：仕組み作りと活動を牽引できるリーダーの養成

進め方：一部の管区気象台において、日本気象予報士会支部との連携で試行

【継続活動と今後の課題】

下記活動のいずれも参加者から高い満足と評価を得ている。3年目も各活動を継続し、反省と課題を踏まえて改善し、更なる充実を目指したい。

1. WXBCセミナー@東京

- ・継続：基本形（データの概要・特徴、データ形式の紹介＋ビジネス事例の紹介、体験コーナーの設置）
- ・今後の課題：気象データの紹介後に、即、データに触ってもらうハンズオンの実施
－事務局と運営方法を検討

2. テクノロジー研修

- ・継続：アメダス版：e-Learning化 & 公開
メッシュデータ版：初版をブラッシュアップ & ライブラリー作成等を検討し開催 e-Learning化を削除
- ・今後の課題：メッシュデータ版：e-Learning化 & 公開。地方での開催
XML版（確率予報）：内容検討 & 研修パッケージ開発 & 開催
IoTチャレンジ！、AIチャレンジ！：内容検討 & 研修パッケージ開発 & 開催

3. WG内勉強会

1)「気象ビジネスへの取り組み紹介」

気象ビジネスの全体像を把握する機会として、気象ビジネスの発想を得る機会として好評であり継続

今後の課題：WGメンバーによる紹介に加え、WGメンバー外やWXBC会員外による紹介へ拡大

現場見学や出張勉強会の実施

アウトプットの作成（フィードバックシート（キーワード、感想等）のまとめ）

2)「気象 x IoT勉強会」

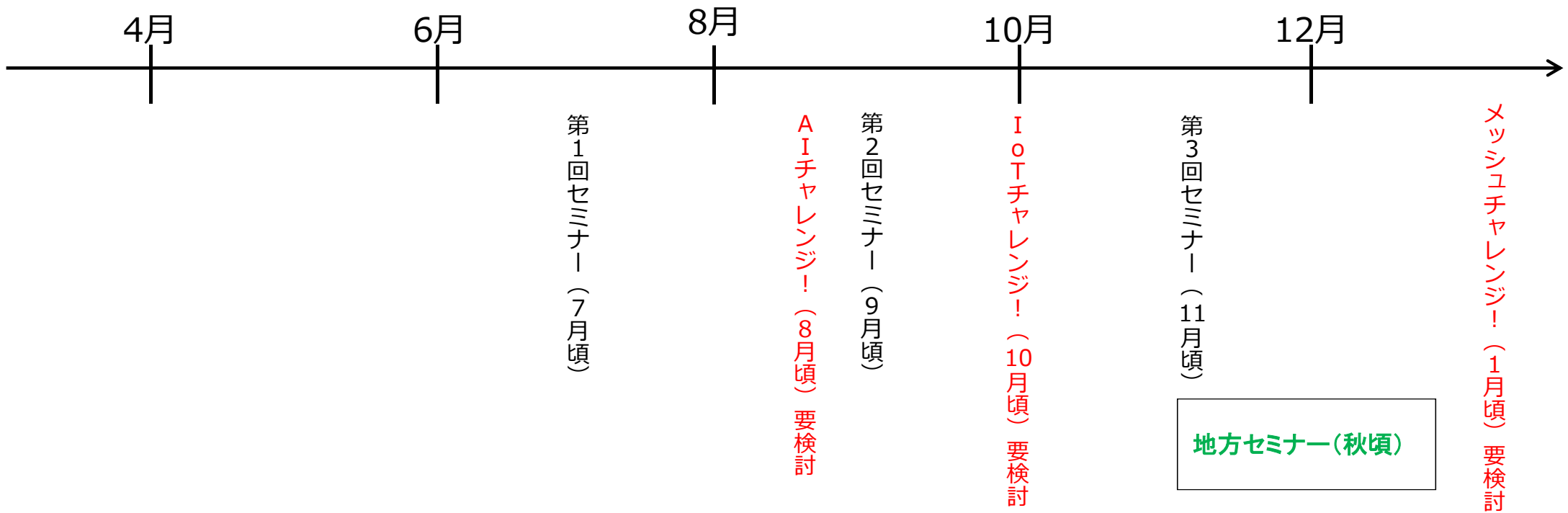
アイディアコンテスト受賞事例を具現化する試みは気象データの活用イメージを広く知ってもらう良い機会

今後の課題：試作のテーマや視点（事例調査等）を変えて継続するかを検討

「気象xICT勉強会」としてIoTからの発展的取り組みについても検討

実施計画①

(1) セミナー&テクノロジー研修開催案



1) WXBCセミナー@東京開催計画案

- 全3回開催 (7月、9月、11月頃)
- <午前> 初心者向けの気象情報についての解説 (気象庁)
 - ・第1回 地球環境・海洋、第2回 観測、第3回 予報
(平成29年度のセミナー内容をベースに)
- <午後> 「使ってみよう!」をテーマにしたセミナー (会員企業+気象庁)
 - ・気象庁の最新情報の紹介 (2週間気温予報、解析降雪量など)
 - ・気象APIの紹介+使い方の講義
 - ・気象ビジネス事例

実施計画②

2) 地方展開計画：

- ・より一層 地方のニーズにあわせた活動展開のための仕組み作り&リーダーの養成
- ・一部の管区気象台において、日本気象予報士会支部との連携で試行
- ・札幌から施行を開始し、事務局との協議をもって順次展開を計画
- ・WXBC地方セミナーは、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡、沖縄で開催予定

3) テクノロジー研修計画面案

○AIチャレンジ！：8月以降に開催予定

AIの専門知識がなくても使えるツールを用いて3回程度実施予定。

詳細は別紙「企画案」に記載

○IoTチャレンジ！：10月頃を目途に開催予定

テクノロジー・チーム（日立、富士通、AITC）+ IoT勉強会有志で検討

○メッシュチャレンジ！：2020年1月頃を目途に更新版で再演予定

予算措置の状況を勘案しながらe-Learning化についても検討

（2）「気象データ分析チャレンジ！」e-Learning化 第1弾

- ・タイトル：「気象データ分析チャレンジ！ ～アメダスCSV編～」
- ・内容：吉野先生講義動画 + 到達度確認テスト + 資料編で構成
- ・公開方法：動画はWXBCのYoutubeチャンネルで会員限定公開
（一部一般公開）
- ・公開時期：2019年7月の予定



トップページ

実施計画③

(3) WG内勉強会「取り組み紹介」&「気象×IoT勉強会」

- 1) 「取り組み紹介」 毎回1～2社から紹介を予定(1者：40～50分程度＜Q&A込み＞)
4月：JTB様、5月：産業技術総合研究所様
6月：weawow(ウィーウォ)様&ESRIジャパン様、7月：パスコ様
9月：慶應義塾大学 宮本先生 (～2020年3月 要調整)
- 2) 「気象×IoT勉強会」
プロトタイプ試作に関する報告書を作成
本勉強会の今後の展開について検討

(4) サブWG活動

- ・テーマ：気象データ利用のための環境整備・充実
①ツール系 ②手引き/Hint&Tips集系 ③API系 等
4年目以降の人材育成のあり方検討
①活動目標 ②施策検討
- ・メンバー：サブWGへの参加者募集
- ・進め方：毎月WG終了後の時間帯に開催
募集への応募者全員で1チームを構成
最初の取り組みテーマは「気象データ利用のための環境整備・充実」とし、
その後に「4年目以降の人材育成のあり方検討」に着手予定

(5) ビジネスWGとの連携

- ・検討テーマ：気象データアナリスト（仮称）および気象ビジネス・コーディネータ（仮称）
の育成・確保

別紙：WXBC 人材育成WG「AIチャレンジ！」企画案①

- ・主催：WXBC 人材育成WG
- ・対象者：気象ビジネスにおけるAIの利用に関心をお持ちの方
- ・参加者数：30名
- ・学習目標：
 - －扱いが容易なツール（AIの知識がなくても使えるツール）を用いて気象データと掛け合わせデータを投入し、現行業務の改善や新しいビジネス創出のためのAI活用法を体験する
 - －「気象データと組み合わせると有効そうなデータ探し」を実際に試し、体験する
- ・AIを利用するまでの流れ & AIチャレンジ！の対象範囲（朱字部分）：
 1. AIに関する基礎知識を学ぶ <- 範囲外（セミナーや勉強会を紹介）
 2. ツールの使い方を学ぶ <- 「AIチャレンジ！」対象範囲
 3. 気象データ×実データでAIを体験（個人ワーク） <- 「AIチャレンジ！」対象範囲
 4. 気象データと組み合わせると有効そうなデータ探し&どの領域に使えるかをグループ討議 <- 「AIチャレンジ！」対象範囲
 5. AIに関する深い知識を得る <- 範囲外
 6. 自社の業務を改善する <- 範囲外
- ・コース内容
（1日コースを想定。下記を基本形とするが、内容の詳細はツール提供各社にお任せ）
 - －午前：ツールの使い方を学ぶ
気象データ × 実データでAIを体験（個人ワーク）
 - －午後：気象データと組み合わせると有効そうなデータ探し&どの領域に使えるかをグループ討議
グループ発表 & 講評

別紙：WXBC 人材育成WG「AIチャレンジ！」企画案②

- ・開催回数：今年度は3回程度を想定
(注記：各回とも「XXX編」として1ツールに特化し開催する)
- ・ツール候補：AIの専門知識がなくても使えるツールとして推奨
 - －富士通（簡易的な機械学習ツールで、データ分析の関連性抽出を半自動化するもの。）
 - －グーヴノーツ「MAGELLAN BLOCKS」
(誰もが使える機械学習ツール)
 - －ソニー「Neural Network Console」
(ニューラルネットワークを直感的に設計できるDeepLearningツール)
 - －人材育成WG内で推薦されたツールあるいは声掛け/募集に応じてくれる各社が有するツール
- ・利用環境等の事前準備について
参加者に対しツール利用のために必要な事前準備に関する通知を徹底し、準備が完了した状態で参加してもらう
- ・会場
 - －気象庁様の会議室
 - －ツール提供社の会場を利用（例：富士通様のPLY）
- ・主な役割分担：
 - －ツール側：ファシリテーターと演習サポート要員の派遣
 - －WXBC側：全体運営（申し込み受付、参加者への連絡、当日受付、懇親会準備等）

人材育成WG 3年目の活動概覧



～報告編～

気象ビジネス推進コンソーシアム
人材育成WG

2019年度 第1回WXBCセミナー@東京 開催報告

目的

- ・令和元年6月から配信開始する、早期天候情報、2週間気温予報についてデータの特徴や使い方を理解していただく
- ・気象データ取得APIを利用したビジネス事例や、気象データ取得APIの実習を通して、気象データの使い方を理解していただく

開催日

7月12日（金）

開催場所

気象庁講堂



募集方法

WXBC会員・非会員 同時募集

参加者 86名（会員52名、非会員31名、当日参加3名） 事前申込99名、午前から受講33名

時間割

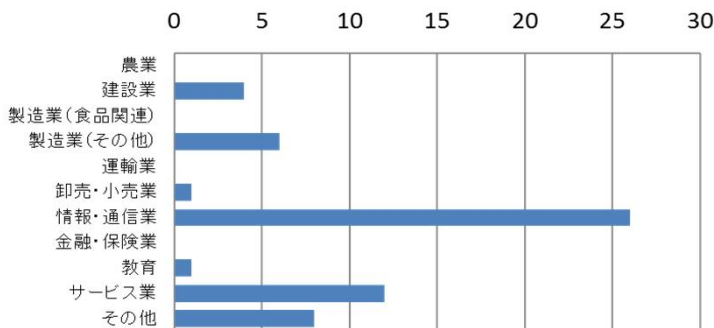
- 11:00-12:00 気象データの基礎知識（季節予報・海洋・紫外線など）（希望者のみ）
- 13:00-13:10 開会挨拶（人材育成WGの活動紹介）
- 13:10-13:45 2週間気温予報とその利用＜気象庁＞
- 13:45-13:55 気象庁の最新のトピックスの紹介＜気象庁＞
- 13:55-14:00 気象友の会＜気象庁＞
- 14:00-14:10 休憩
- 14:10-14:50 「天候ドリブンなリコmendエンジン『TNQL API』が実現する新たなマーケティング」
株式会社ルグラン 代表取締役 共同CEO 泉 浩人 様
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-16:30 （ハレックスオリジナル）気象API「DreamAPIセミナー」
株式会社ハレックス 常務取締役 足海 義雄 様
システム課長 土川 正彦 様



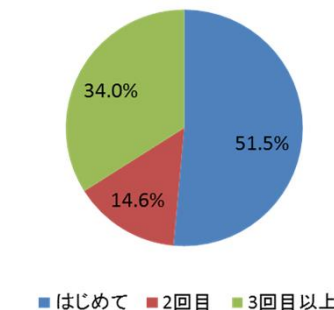
2019年度 第1回WXBCセミナー@東京 開催報告

<アンケート・サマリー> (参加者86名中60名が回答)

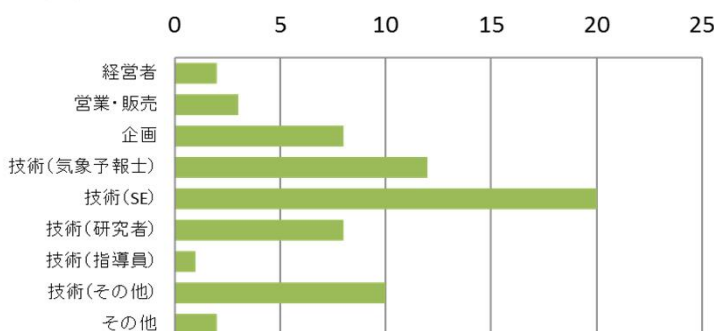
業種



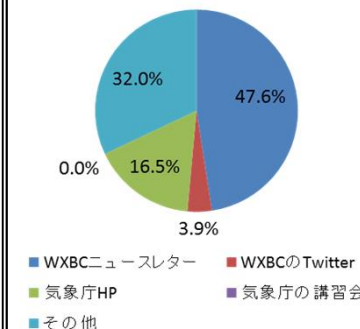
WXBCセミナーへの参加回数



職種



今回のセミナーを何で知りましたか？



参加の動機(自由記述・抜粋)

仕事・業務のため (11件)	顧客のシステム開発におけるサードパーティーデータの活用について検討したいため お客様対応のために必要な、気象データの活用に関する知識を得るため。
ビジネスへの応用 (10件)	お天気とビジネスの事業を確立したいと考えています。 気象データに関連するビジネスを検討中のため
学習目的 (22件)	気象データ活用の方法を学びたいため 初めて気象ビジネスに携わる為、いろいろと勉強したいため 引き続きセミナーに参加し知見を深めるため
情報収集のため (20件)	気象庁の最新のトピックス情報収集とビジネスへの対応調査のため 気象ビジネスを行う上で様々な情報収集を行っている為 気象情報の活用可能性について情報収集したいため
興味・関心があったため (29件)	気象ビジネスに興味があるため APIによる気象データの分析に興味があるため 気象庁の最新のトピックスに興味があったため。 興味のあるテーマの講演があるので。 気象データの利用に興味をもっていたため
その他 (11件)	以前、出て大変勉強になったので。 メールで気象庁よりご案内を頂いたため。 研究室での紹介

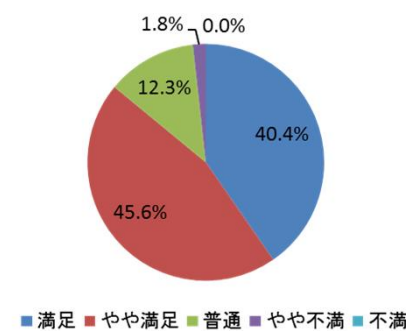
満足+やや満足
合計86.0%

そう思う+ややそう思う
合計77.7%

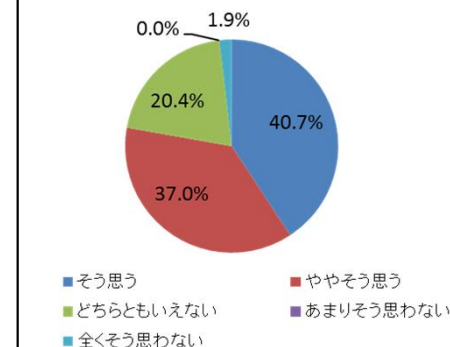
【参加者からのご意見や感想(抜粋)】

- 気象に関わるデータの解説や利用事例は非常に参考になった。他社の事例は知る機会が少ないため、このような機会が得られたのはとても有用に思います。
- 今後は気象データのビジネス活用に向けて、勉強させていただきます。
- 天候がどのように顧客の行動をおよぼすか、参考になりました。
- 業務に立入った説明を頂き、貴重であった。
- もっと(APIを)色々いじってみたいと感じました。面白かったです。
- 私自身はコードはわからないのですが、実装が容易で、気軽に取り込めるということはいくわかりました。
- プログラム内容の説明を始めにやっていただいた方が理解しやすいと思います。
- 国際化をテーマにした事例紹介を聞きたい。
- 過去のセミナー等を追体験できるような機会があるとありがたい。

セミナー全体の満足度



気象データAPIを使ってみたいか？



第1回AIチャレンジ！開催報告

開催日時 8月30日（金） 14:00～17:45

開催場所 FUJITSU Knowledge Integration Base PLY（プライ） TOKYO
（富士通ソリューションスクエア2階 蒲田駅から徒歩6分）

参加者 WXBC会員 25名、他 オブザーバー（WXBC人材育成WGメンバー）：2名、
講師・スタッフ（富士通・先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)・気象庁）：10名

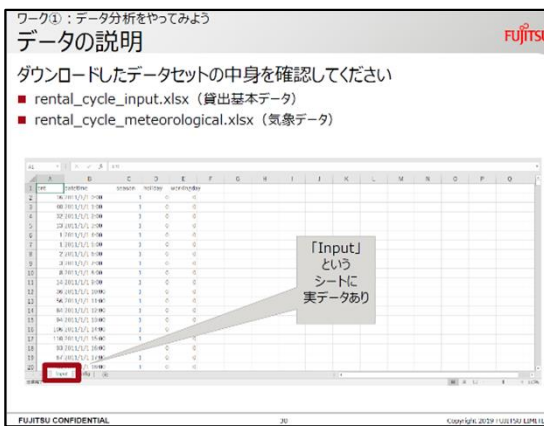
概要

- | | | |
|--|---------|----------|
| 1. 冒頭挨拶（5分） | : AITC | 田原 春美 様 |
| 2. オリエンテーション（5分） | : 富士通 | 石塚 昌平 様 |
| 3. グループ内自己紹介（10分） | | |
| 4. AIを取り巻く状況（10分） | : 富士通 | 石塚 昌平 様 |
| 5. ワーク①：データ分析をやってみましょう（60分） | : 富士通 | 石塚 昌平 様 |
| ----- 休憩（10分） ----- | | |
| 5. 気象データの紹介（15分） | : 気象庁 | 福井 雄仁 |
| 6. ワーク②：身近な課題×気象データ（75分） | : 富士通 | 石塚 昌平 様 |
| ----- 休憩（15分） ----- | | |
| 7. 気象データを実務で利用するには（10分） | : ハレックス | 井原 さえ子 様 |
| 8. まとめ（AIの分析プロセス）（10分） | : 富士通 | 石塚 昌平 様 |
| 9. 質疑応答・アンケート記入（10分） | | |
| ※ 終了後（18:00～19:00）に参加者同士のネットワーキングの場として懇親会を実施 | | |



第1回AIチャレンジ！開催報告

<講義資料抜粋>



ワーク①：データ分析をやってみよう

データの説明

貸出基本データ	気象データ	データ項目
cnt	weather	cnt 利用者数
datetime	temp	datetime 日時
season	atemp	season 季節
holiday	humidity	holiday 祝日
workingday	windspeed	workingday 平日/休日
		weather 気候
		temp 温度
		atemp 体感温度
		humidity 湿度
		windspeed 風速

予測したい項目

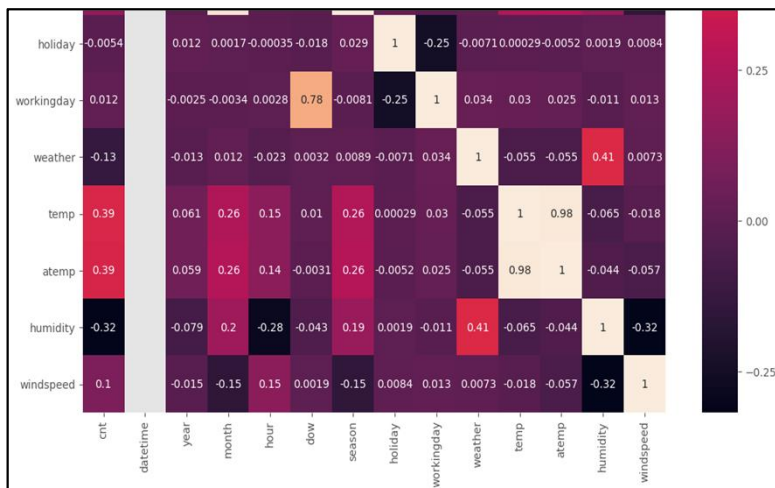
FUJITSU CONFIDENTIAL 29 Copyright 2019 FUJITSU LIMITED

- WXBC会員限定ページ内に講義資料を掲載

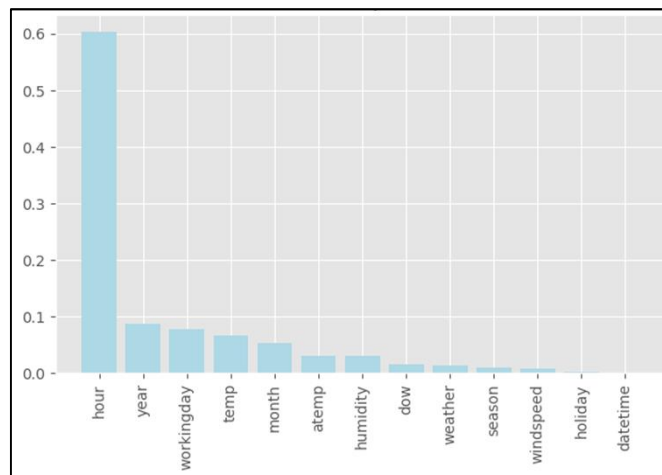
https://www.wxbc.jp/mypage/aichallenge/aichallenge_20190830/

<出力結果サンプル>

相関関係の分析 (Correlation)



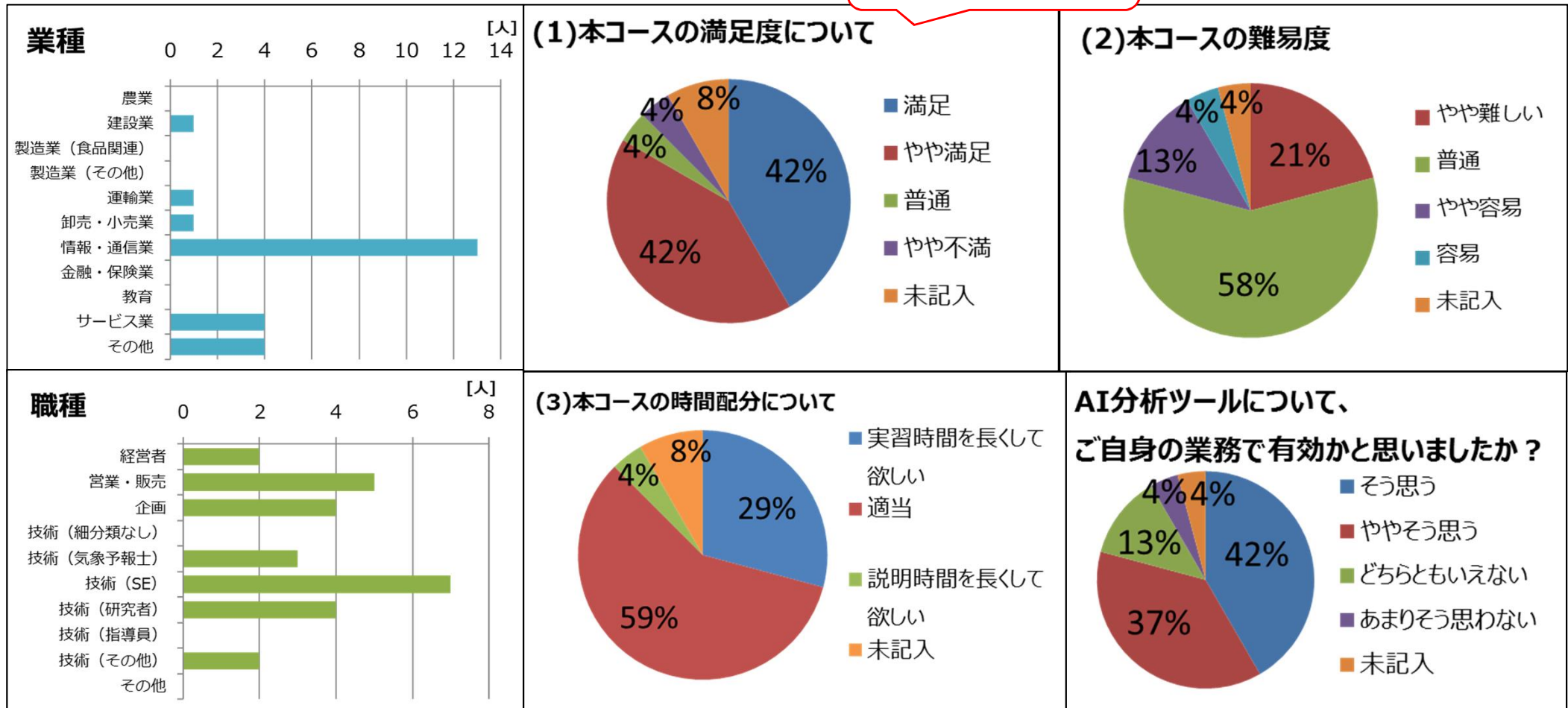
重要な変数の分析 (Feature Importance)



第1回AIチャレンジ！開催報告

<アンケート・サマリー> (参加者25名中24名が回答)

満足＋やや満足
合計84%



【参加者からのご意見や感想（抜粋）】

- AIについて、実際に操作してみることができ勉強になりました。
- ワークショップでの分析体験、グループワークのアイデアが発見につながり、学びになった。
- AIへの理解と目的（行動のリコmendやスコアリング）が明確になった。
- AIツールは初心者にもAIを理解させることについてとても工夫されていると思いました。
- とても楽しく先進のAIを体験できて良かったです。

- データの活用法、どのような場合でどんな手法を取るべきか、大変勉強になりました。
- エクセルは普通の方にもわかりやすいので、それをアップロードすると分析結果が返ってくるというサービスは、今後の業務で他の方にわかりやすく受け入れられると思いました。
- コンソーシアム自体がAIツールや情報活用基盤を提供してはいかがでしょうか。

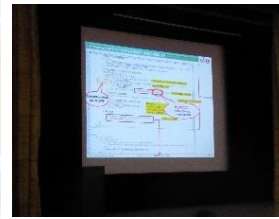
2019年度 第2回WXBCセミナー@東京 開催報告

目的

- ・現在気象過去データ利用環境*で提供している「アメダスCSVデータ」の特徴や使い方を理解していただく
- ・ビジネスへの気象データの活用の可能性を、データサイエンスの観点から理解していただく
- ・気象過去データ取得APIの実習を通して、気象データの使い方を理解していただく

開催日

9月25日（水）



開催場所

気象庁講堂

募集方法

WXBC会員・非会員 同時募集

参加者 74名（会員43名、非会員30名、当日参加1名） 事前申込83名、午前から受講35名

時間割

- 11:00-12:00 気象データの基礎知識（アメダス・レーダー・推計気象分布など）（希望者のみ）
- 13:00-13:05 開会挨拶（人材育成WGの活動紹介）
- 13:05-13:15 気象庁の最新のトピックスの紹介＜気象庁＞
- 13:15-13:55 アメダスCSV等の紹介＜気象庁＞
- 13:55-14:00 気象友の会＜気象庁＞
- 14:00-14:10 休憩
- 14:10-14:50 「拡張アナリティクスの実践と気象データ活用の可能性について」
株式会社データビークル 代表取締役 CPO 西内 啓 様
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-16:30 （ハレックスオリジナル）気象API「DreamAPIセミナー」
（第2回）
株式会社ハレックス 常務取締役 足海 義雄 様
システム課長 土川 正彦 様

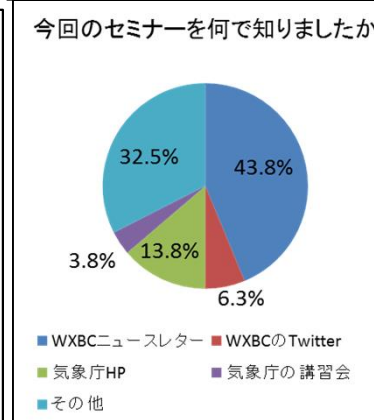
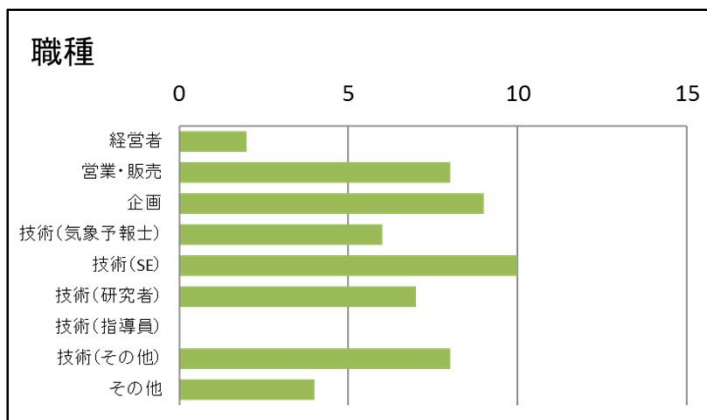
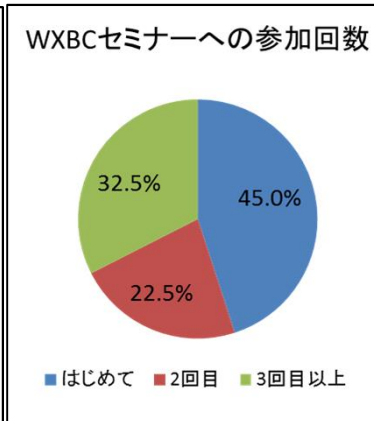
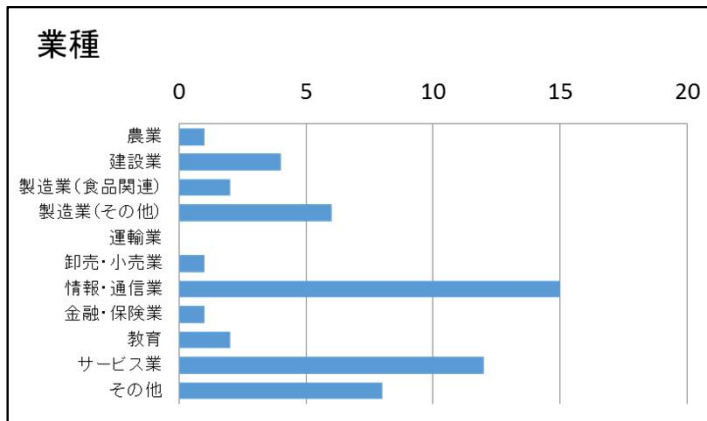


気象過去データ利用環境*

今年の6月から、気象庁では、気象データを活用したビジネスを検討する企業等を対象に、気象過去データを実際にご利用頂き、その課題等を分析する調査にご協力頂ける方を公募しています。 https://www.data.jma.go.jp/developer/past_data/index.html

2019年度 第2回WXBCセミナー@東京 開催報告

<アンケート・サマリー> (参加者74名中50名が回答)



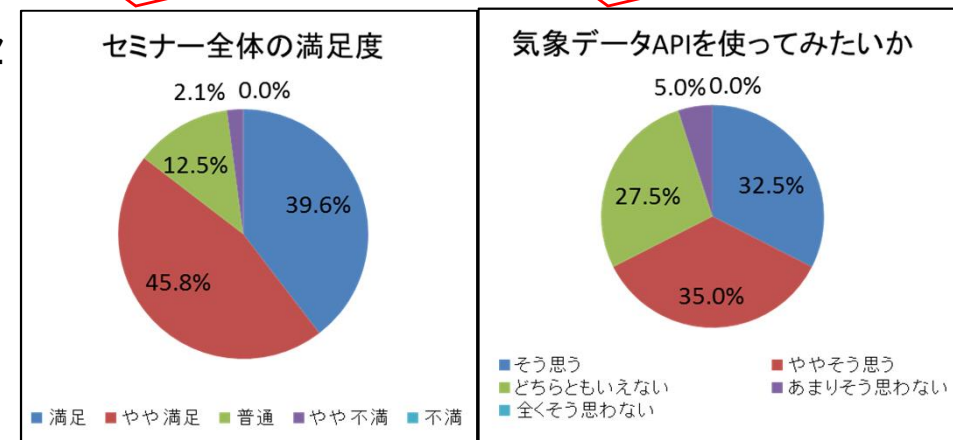
参加の動機 (自由記述・抜粋)	
仕事・業務のため (12件)	天候情報を使用した業務管理のシステムを構築するため
	業務で気象に関する知識が必要だからです。
	災害対策業務のアップデート
ビジネスへの応用 (13件)	気象データを当社ビジネスに活用する手段を検討したいため
	新規ビジネス創出のため
	天候予測をもとにした弊社ビジネスへの活用の可能性を勉強させていただきたいと思い参加希望いたしました。
学習目的 (18件)	大事な予測要素なので勉強したく申し込みました。
	気象庁データの取得法を知って、研究に使用したい。
	前回のセミナー内容がとても良かったので、今回も勉強の為に参加したいと思います。
情報収集のため (20件)	A P Iについて知識の習得
	天候不順が続くことから、少しでも気象の知識を身に付けたいから。
	CSVデータを地温積算以外で利用できるか知るため。
興味・関心があったため (11件)	最新トピックスを聞きたいため
	気象災害に関する業務に向け気象データ活用の事例や方法について学びたい。
	気象データの活用について、興味があるため
その他・不明 (6件)	弊社取引先のハレックス様よりご案内をいただき、興味を持ったため。
	普段から気象情報の利用に興味があるから
	気象庁様の取組みに参加するため
	昨年セミナーが良かったので
	A I等でのデータ活用

満足＋やや満足
合計85.4%

そう思う＋ややそう思う
合計67.5%

【参加者からのご意見や感想 (抜粋)】

- APIセミナーでは、前回の少し不確かなところを、明確にわかるようになり、また、エクセルで具体例を勉強することができ、これも、とても良かったです。
- 前回に引き続きボリュームがあり良かったです。
- 前回と違う機能を使うことができ良かったです。
- 気象庁HPから配布されているアメダスデータの理解が深まり、勉強になった。今後も気象データとビジネスの関係がわかるような講演があると大変ありがたい。また、衛星画像の活用法や衛星からの観測値、洋上の気象についても興味があります。
- 気象ビジネスの具体的な活用事例紹介としてサービス内容を紹介頂けると良いと思いました (より気象サービスの受け手側の内容に)。
- APIの操作、体験型のセミナーを次回以降も増やして欲しい。
- 人材育成ワーキングに関心をもった。



第2回気象ビジネスマッチングフェアについて

- 2019年7月31日に「**第2回気象ビジネスマッチングフェア**」を開催。
- 206**名が来場（事前申込者数が101名、当日参加が105名）

開催日時	2019年7月31日（水） 9：30～18：00
開催場所	ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター
プログラム	- 個別マッチング（13:00～17:00） ✓ 1対1の商談会 ✓ 20分商談 + 20分休憩を1セット ✓ 43社参加、83商談を実施 - 全体プレゼンマッチング（10:00～12:00） ✓ 1社5分で気象ビジネスについての取り組みをプレゼン（19社） - パネル展示（9:30～18:00） ✓ 気象ビジネスについての取り組みをパネルで紹介（29社） ✓ ミーティングスペースを用意し、その場での商談も可能

イベント後のアンケートによる成果調査（9/19メ。12月末再調査予定）

- 個別マッチングによる成果
 - ✓ 「後日具体的な商談を行った or 行う予定」と回答した企業は、**約60%**。
 - ✓ 「商談が成立した」との回答は、現時点でなし。
- 全体プレゼンマッチング & パネル展示による成果
 - ✓ 「後日具体的な商談を行った or 行う予定」と回答した企業は、**約50%**。
 - ✓ **「商談が成立した」との回答が、1件あり。**

新規気象ビジネス創出WG報告

気象データの利活用事例集のWEB版の作成について

- WXBCホームページに**事例集のWEB版**を追加予定。
 - ✓ ファイルサイズが大きいPDFのみの提供から、HTMLベースでの閲覧が可能
 - ✓ カテゴリーでの絞り込み、フリーワード検索が可能
 - ✓ カテゴリーは事例集第2版のカテゴリー分けを利用
 - 交通・物流、観光、保険・金融、農業、漁業、防災、建設・インフラ、需要予測、エネルギー、室内環境、ファッション、美容・健康、レジャー・スポーツ、広告・販売促進、ソフトウェア
 - ✓ 随時、事例の追加が可能
- 第1版、第2版の事例を**1月中旬に公開予定**です。
- 公開後には、WXBC会員にも照会し新しい事例を追加していきます。新しい気象ビジネスの事例ができましたらお知らせください。

■ 事例集

カテゴリーで絞り込み (全てチェックする / 全てチェックを外す)

☒ソフトウェア ☒ハードウェア ☒建設業 ☒農業

フリーワードで絞り込み

ソフトウェア	雨雲可視化ソフトウェア DioVISTA/Storm
建設業	人工知能"KMOMY(くもみ)"による雲観測自動化ソリューション
建設業	WEB版事例集トップページ

■ 人工知能"KMOMY(くもみ)"による雲観測自動化ソリューション

企業・団体名

○ スカパーJSAT株式会社

取り組み概要

人工知能"KMOMY(くもみ)"は、雲の写真をWMO(世界気象機関)で定義された雲の観測分類(10種類、27状態、10雲量)に判別する。AI開発の要となるアルゴリズムと学習データセットそれぞれを、神戸大学大学院システム情報学研究科及び同大学院海事科学研究科の監修・協力のもと研究開発を進めている(2018年AI学会で発表)。

KMOMYの機能を使ったスマホアプリ「くもろく」を公開し、広く一般の方にご利用いただけるようにしています。

個々の事例ページ

ホームページ	進捗
トップページ改修	実施済み
セミナー等の各種資料を掲載	随時実施中
WG紹介ページ	作成済み
会員紹介ページ	内容拡充中
Web版ビジネス事例集	作成中
Read Onlyアカウント	作成済み
Twitter	進捗
リツイートを増やして実施中	フォロワー数が1000を超え、順調に増加中
YouTube	進捗
順次動画を掲載	E-Learningや第3回気象ビジネスフォーラム等の動画を掲載
ニュースレター	進捗
No.70まで発行	今後の順次発行予定

● 2年の任期（H31年の総会～R3年の総会まで）の途中での運営委員の変更

（敬称略：50音順）

変更後		変更前（五十音順）		変更理由
足海 義雄	（株）ハレックス 常務取締役	足海 義雄	（株）ハレックス 常務取締役	
大野 宏之	（国研） 農業・食品産業技術総合研究機構 本部企画調整部 研究管理役 兼 農業情報研究センター 連携調整室長	大野 宏之	（国研） 農業・食品産業技術総合研究機構 本部企画調整部 研究管理役 兼 農業情報研究センター 連携調整室長	
沖野 剛史	（株）東芝 技術・生産統括部 技術企画室 参事	沖野 剛史	（株）東芝 技術・生産統括部 技術企画室 参事	
木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授（副会長）	木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授（副会長）	
金城 秀樹	（株）三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 デジタルイノベーション室 シニアプロジェクトマネージャー	金城 秀樹	（株）三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 デジタルイノベーション室 シニアプロジェクトマネージャー	
越塚 登	東京大学大学院情報学環長・学際情報学府 学府長（会長）	越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授（会長）	
小松崎 剛史	（株）ローソン 次世代CVS統括部 シニアマネージャー	小松崎 剛史	（株）ローソン 次世代CVS統括部 シニアマネージャー	
菅波 潤	富士通（株）DSSBGマネジメントセンター 事業管理統括部 TCビジネス管理部 シニアマネージャ	菅波 潤	富士通（株）テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TCビジネス推進統括部 シニアマネージャー	
鈴木 史朗	（一財）日本気象協会 事業本部 メディア・コンシューマ事業部 専任主任技師	鈴木 史朗	（一財）日本気象協会 事業本部 メディア・コンシューマ事業部 専任主任技師	
橘 克憲	（株）パスコ 経営戦略本部 執行役員 本部長	橘 克憲	（株）パスコ 経営戦略本部 執行役員 本部長	
田中 真司	ヤフー（株）メディアカンパニー Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	田中 真司	ヤフー（株）メディアカンパニー Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	
田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	
遠山 雅之	（株）ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	遠山 雅之	（株）ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	
河野 敦夫	（一社）全国清涼飲料連合会 専務理事	河野 敦夫	（一社）全国清涼飲料連合会 専務理事	
藤川 優	大塚製薬（株）業務管理部 部長	藤川 優	大塚製薬（株）業務管理部 部長	
村上 文洋	（株）三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	村上 文洋	（株）三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	
山西 俊文	三井住友海上火災保険（株）商品企画部 次世代開発推進チーム課長	山西 俊文	三井住友海上火災保険（株）商品企画部 次世代開発推進チーム課長	
立仙 和巳	（株）日立製作所 サービス営業推進本部 ビジネスプロデュース企画部 主管	立仙 和巳	（株）日立製作所 サービス営業推進本部 ビジネスプロデュース企画部 主管	